

<参考>様式第4号

豊明市議会議長 殿



29年10月17日

研修会・講演会等参加報告書

議員名 一色美智子



29年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び 成果等
10月13日(金) 14日(土)	苫小牧市民会館	男女平等参画について考える 日本女性会議 2017とまこまい

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

平成29年度 公明党市議団視察報告書

一色 美智子

平成29年10月13（金）・14日（土）
北海道苫小牧市民会館

男女平等参画について考える 「日本女性会議」2017とまこまい
北の大地で語ろう これからの未来の一步を

参加議員 近藤千鶴・一色美智子

北海道苫小牧市人口 173,291人 面積 561,57m²

特別揮毫・講演

ちがいはかけがえのない個性 ～ダウン症の娘と共に生きて～

金澤 泰子 東京芸術大学評議員・日本福祉大学客員教授

金澤 祥子 書家

・金澤祥子さんはダウン症という障がいを持ってうまれましたが、母泰子さんの嘆きをよそに、周りの人たちに優しい光と愛を注ぐ子どもに成長しました。

・祥子さんは母泰子さんが42才の時に初めてできた子どもで、幸せ一杯だった時に一番欲しかった子どもを授かったがダウン症と聞き悩み、苦しみその中で出産をし、その後この子は生まれて来てはいけなかった子だと思ってきたが、ある時子どもの力は偉大、希望と可能性は絶大と思えるようになった。生きてさえいれば絶望はない。

親が壁になってはいけない、親が自立をして子どもも自立できる。

・ダウン症は750人から1000人に1人とされている。
ダウン症の子は一個染色体が多い、その為誰に対しても優しい。
人を悪く思わない。感受性が強い。

・祥子さんは20歳の時に国連でスピーチをして、その時に30歳になったら独り暮らしをすると宣言をして、その通り30歳から一人暮らしをしている。

・「共に生きる」の揮毫、皆さんのために共に生きる、一緒に生きる、ハート、感動、心をこめて揮毫をしてくださいました。とても力強い、暖かい文字でした。



基調講演 「未来を拓く女性の活躍」

内閣府男女共同参画局長 武川恵子

- ・女性活躍の必要性（少子高齢化、生産人口の減少）
現状が続けば2060年には人口が約8,700人と現在の3分の2の規模まで減少する。
- ・平成24年～平成28年で、女性の就業者は147万人増加している。
女性の生産人口は減少しているが、そのうち女性の就業者数は5年連続で増加している。
- ・女性就業者数の推移—安倍政権発足後約4年で、女性の就業者は約150万人増加
- ・第一子出産後の就業継続率—これまで40%前後で推移していたが近年高まっている。
- ・男女共同参画社会に関する世論調査では女性が働くことに対する意識は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と思う人が初めて50%を超えた。
- ・2016年度のジェンダー・ギャップ指数（各国における男女格差を測る）は、日本は144カ国中111位 1位アイルランド2位フィンランド3位ノルウェー。
- ・諸外国の国会議員に占める女性割合の推移 日本国会議員に占める女性の割合は上昇傾向にあるものの、先進諸外国との格差は大きい。日本164位 9.3% スウェーデン6位 43.6% ノルウェー12位 39.6%
フランスでは、パリテ法に基づいて県議会選挙における男女ペア立候補制度を導入している。
- ・夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高い。
- ・男女とも、結婚相手の条件として最も考慮・重視するのは「人柄」に次いで「家事・育児の能力」



記念講演 「夢見る力」～つながる幸せ～

渡辺 えり 劇作家・演出家・女優

山形県出身、舞台芸術学院、青俳演出部を経て、1978年より「劇団さんじゅうまる」を20年間主宰。

近年の出演作は、舞台「三婆」「黒塚家の娘」テレビ「100の資格を持つ女」など。

- ・いじめられた方は一生覚えているが、いじめた方は忘れていく。
- ・命は唯一無二のもの、自殺は絶対にしてはいけない。
- ・夢は大きい方がよい、夢はあきらめない。
- ・戦争はあってはならない。人間が人間を殺してはいけない。

健康と食育

まだ間に合う！今の大人に食育を！

～将来を担う子どもたちへ・・・現代社会の健康を考える～

- ・食育が求められる背景—日本型食生活の崩壊
食生活上の課題 自給率の低迷・欠食・過食・偏食 ⇒
肥満・痩身
生活習慣病
- ・食育推進には、計画とネットワークが重要。
- ・食育推進を支えるには地産地消が重要。
地元の産物を活用して人と地域を元気にしていく。
- ・ぴんぴんころりを目指してそのカギを握っているのが食育である。



男女共同参画のために

- ・男性の家庭内の応援は女性が上手にリードをしていく。
- ・美味しいものを作るには女性に余裕がなければならない。
- ・毎日の事を続けていくためには役割分担が必要。
- ・キッチンを女性の部屋にせず、小さい時から皆の部屋にする。

特別講演 高橋 義雄

「渡る世間は嘘ばかり・・・“格差社会を打ち破る”」

～思考停止の世の中、あきなめないで本質をつく～

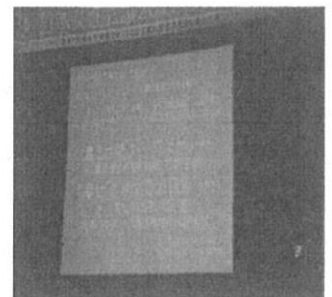
とまこまい脳神経外科、岩見沢脳神経外科、大川原脳神経外科等

- ・人間この世の中不公平、ところが今の時代はやられっぱなし。
- ・幸せを求める、未来につなぐ（子どもたちにどうつなげてあげるかが大事）
- ・20歳から老化が始まる。
- ・昨日出来なかった事が今日出来るのが子どもたち、昨日出来たことが今日できなくなるのが高齢者。



(まとめ)

- ・今回の女性会議に参加して、今から出来る事、そして未来につなぐための一歩になることを真剣に考えなければいけないと思いました。
- ・女性自身がかもっと地域の事、家庭の事を考えなければならぬと実感をしました。
- ・障がいかどうかは、相手が決める事で多様性を受容すること、ダイバーシティ、人間の多様性は多くの角度から見てあげる事



が重要だと実感を致しました。

- ・皆いろいろな能力がある・自分の可能性は多様だし、それに挑戦するのが人生だと思いました。
- ・皆が同じ人間として同じ権利を持ち、能力や個性が十分に発揮できる社会になってほしいと考える研修会でした。

